

開催日時	令和6年12月9日（月）14時00分から16時
開催場所	オンライン会議システム「Zoom」を利用
出席者	黒木部会長、関副部会長、鶴山委員、郷原委員、鳥居委員
会議の概要	<p><b>1 議題</b></p> <p>(1) 部会長、副部会長の選任について</p> <p>(2) 「第8期かながわ高齢者保健福祉計画（令和3～5年度）」介護保険事業の実績について</p> <p>(3) 「第8期かながわ高齢者保健福祉計画（令和3～5年度）」主要施策の評価（案）について</p> <p>(4) 「第9期かながわ高齢者保健福祉計画（令和6～8年度）」評価方法の方向性について</p> <p><b>2 報告事項</b></p> <p>(1) 介護保険事業(支援)計画に記載した「自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組と目標」の報告について</p>
【意見要旨】	<p><b>議題（2）「第8期かながわ高齢者保健福祉計画（令和3～5年度）」介護保険事業の実績について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施設整備について、グループホームの公募しても応募がなく、資材が物価高騰で難しい、人材が確保できない。</li> <li>○ コロナ禍で通所系が減って、訪問系が増えた。訪問看護の伸びが大きく、在宅での医療系のニーズが高かった。</li> </ul> <p><b>議題（3）「第8期かながわ高齢者保健福祉計画（令和3～5年度）」主要施策の評価（案）について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 認知症関係の参考指標として、認知症当事者のアンケート調査をしていることは、とても良い。</li> <li>○ 認知症高齢者の行方不明時の早期発見・対応を見てもう少し頑張ったほうがいい。</li> <li>○ 高齢福祉でケアラー支援を取り上げながら、部局横断の連携体制を構築しながら進めていることはとても良い。</li> <li>○ 人口減少の影響で、家族機能が低下し、地域の関係性が希薄化しているという課題等もある中で、支援機関のサポート体制整備、相談窓口の設置や居場所づくりの支援を進めている。</li> <li>○ どのように解釈して評価したのかが外の方に分かることが重要。ポジティブなメッセージをできるだけ次の行動につなげて欲しい。</li> </ul> <p><b>議題（4）「第9期かながわ高齢者保健福祉計画（令和6～8年度）」評価方法の方向性について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事務局案としてロジックツリーに基づいて定量的な評価を主とする提案があったが、多くの事業が定量的には評価できないと実感している。項目によって定性的な評価を重視することをあらかじめ考えておくこと検討してほしい。</li> <li>○ 県政にとって定量的評価に加えて、定性的な評価が考慮されることは極めて重要。定性的な評価や文章表現でしっかり反映してほしい。</li> <li>○ 指標とKPI・活動目標があり、直接的に繋がるとは限らない。どうやって補完するかは難しい課題。そこを定性評価で埋めるか、別でウェイトづけで評価するか事務局において検討してほしい。</li> </ul>

令和6年第2回 計画評価部会の開催概要

開催日時	令和7年2月14日（金）15:00～17:00
開催場所	オンライン会議システム「Zoom」を利用
出席者	黒木部会長、関副部会長、鶴山委員、郷原委員
会議の概要	<p><b>1 議題</b></p> <p>(1)「第8期かながわ高齢者保健福祉計画（令和3～5年度）」主要施策の評価（案）について</p> <p>(2)「第9期かながわ高齢者保健福祉計画（令和6～8年度）評価方法（案）について</p> <p>(3)「第8期かながわ高齢者保健福祉計画（令和3～5年度）」介護保険事業の実績について</p>
【意見要旨】	<p><b>議題（2）「第9期かながわ高齢者保健福祉計画（令和6～8年度）」評価方法（案）について</b></p> <p>○ K P I ・活動目標でそれぞれの主要施策の評価が十分であるかが重要。測定自体が難しい領域は定性評価のみを行うということも当然あり得る。</p> <p>○ K P I として数を示せる分かりやすさがあるものはK P I を基本とし、取組の推進が数字で表しにくいものは定性的に評価する。そのうえで主要施策の評価で何を重視するかは、それぞれの施策ごとに中身を見て評価の方法を決めたと理解した。ケアラー支援など福祉的な施策では、定性的な評価もきちんと反映させていく。数字が目標に直結している、福祉人材の確保などは定量的な評価に重きを置く。</p> <p>○ ロジックツリーを作って見える化をして、定性的なものをどの段階でどう反映させていくのか、K P I で代表されているのかということを見える化したことによって、議論が深まった。</p>